

釧路湿原美術館

釧路湿原美術館には、佐々木榮松（1913－2012）の作品が展示されています。「湿原の画家」と呼ばれた佐々木榮松の優美な作品は、北海道東部の風景や野生生物から着想を得て制作されました。この美術館は、榮松が生きていれば 100 歳を迎えるはずであった、平成 25 年に開館しました。年中無休です。

佐々木榮松は北海道東部で生まれ育ち、釣りをしながら、野外で多くの時間を過ごしました。油彩画、水彩画、素描や魚拓を通して、彼は自然から学んだ教訓を表現しました。榮松の作品に共通しているテーマは「命」です。

彼の作品は地元の描写を魅了するだけでなく、価値あるものや感情的に作品にどう反応するかなどの個人的な質問を塾講するよう促します。

美術館には約 600 点の作品が保管されており、常設展示と半年ごとの企画展示があります。美術館は、阿寒国際ツルセンター横、国道 240 号線沿いにあります。野生のタンチョウは美術館の周囲でも、特に近隣の畑が給餌場になる冬に観察することができます。